

●大阪工業大学の教授方が淀川学の現地視察に中聖牛などを視察に来訪 1月21日(火)

大学の淀川学の教育充実のために現地視察として、木津川で土砂流動を研究されている本会の小川芳也さんが現地を案内されました。先生方は地学や法学、生物学、河川工学の皆さん方で中聖牛が果たしてきた現場視察から多くの事を学び取られた様子でした。私たち里山の会の取り組みを風の便りに耳にされての行動だとお聞きいたしました。ささやかな取り組みのうわさをお聞きになって現場を見学されるということは大変驚く出来事です。この取り組みが自然災害発生の規模がますます大きくどこでも起きている今日何か学問研究の一助に役立ち若い研究者の皆さんに役立つとは思ってもよらない出来事です。大変良かった出来事でした。

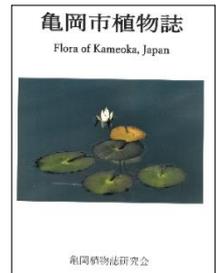
●炭焼き体験の原木を運び込んでいただきました。1月25日(土)

台風で倒れた古木を寸切りにして、炭焼き窯に運び込んでいただきました。炭焼き窯にはもう少し原木が不足しているようです。もうすこし用意しないと炭窯一杯にならないようです。ご協力をお願いいたします。なお着火予定日は2月22日頃を予定しています。生木は少なくとも1ヶ月は乾燥させなくてはなりません。これまで数回雑木を利用してきましたが今回はコナラなどで生産したいと思っていますので炭窯に適用した利用になるのでしょうか。基礎的な学びをたくさんできると期待をしています。また、1月28日には農園の山のコナラも1本伐採しましたが、炭焼きに適する太さの木は軽トラ半分ほどでした。



●亀岡植物誌研究会から亀岡市植物誌の贈呈をいただきました。1月26日(日)

413頁もある大変分厚い書物で津軽先生の業績を受け継いでおられる記録書です。私たち里山の会が大変お世話になっている光田重幸先生が大役を果たしておられます。事務所に備えておりますのでご利用ください。



●里山の会が桜谷先生のご指導の下でカスミサンショウウオ（現在はヤマトサンショウウオと呼び名が変わっています）の卵囊を見つけて以来、第二の生息地を探し求めて2024年春に念願の第二番目の生育池を発見できることが出来ました。

その間に京都水族館が開設され、生物多様性センターが誕生するなど大きく情勢、条件、環境が変化しました。この度、水族館から現状視察にお越しになっていただけるとの連絡を受けてうれしく思っています。うまく事が進めば京都の水族館で京都府下の貴重な生き物が飼育されることが実現されればすごい第一歩になると期待をしています。



昨年発見した卵囊



水がなくなった溜まり

これから解決していかなければならない課題が大きいと思いますが現状をお知らせいたしました。

●ヤマトサンショウウオの産卵が間もなく実施される時期を迎えています。

これまで最も早いのは2月9日が記録されています。今年は1月24日には発見されませんでした。予定されている池の水面には花粉が全面的に降り注ぎ水中がのぞき込む事が出来ませんでした

が、風に流されると水中の観察できました。またここしばらくまとまった雨が降らず染み出る水が無く毎年観察してきたところは干し上がっていました。1月の後半は雪などの天候は全国的に冬らしいことが伝えられていますが、京田辺市はまとまった降雨が見られなくて、生き物にとっては大変厳しいことになっています。産卵の時期に池の水が溜まってくれるのを期待していますが、……。里山の会では担当を決めて観察行動を3日ごとに行っていて注意深く注目しています。

●京都環境フェスティバルが伏見の竹田のパルスプラザで開催され73の団体や企業が出展します。2月1日(土)

里山の会も松かさツリー作りや竹サインペンづくりで親子で楽しんでいただく工作で参加いたします。また会場には20枚近くのポスターで活動紹介の展示をいたしますので、家族そろってお越し頂けると嬉しいです。特に今回初めて2人の中学生がポスター発表展示を用意してくれていますので非常に嬉しいです。大いに期待をしています。9:45分開会で16:00が閉会の1日の取り組みですのでご注意ください。近鉄竹田駅から会場までの無料のシャトルバスが運行されているのでご利用ください。

●若手のための生物多様性保全研究会が2月2日井手町木津川玉水橋東詰め堤防広場で開催されます。

雨天でもカルバートがありますので実行します。現在15名の参加希望者があります。まだ余裕がありますので飛び入り参加大歓迎です。参加費無料ですから気楽にお越しください。講師は前京都大学准教授の竹門康弘先生です。伝統的河川工法「将棋頭型竹蛇籠水制」についてのお話をさせていただきます。

●第27回 自然と環境講演会 3月1日(土)

小学校の時代に亀岡市から里山の会の昆虫観察会にお母さんが自動車でお送りまで送迎されて参加を続けていただいた浅野聡史さんが講師です。その時の指導者が桜谷先生で直接昆虫について解説されて、それで京都大学への進学を決めて現在京都大学准教授として世界の昆虫学を学ぶ後輩を育成されています。里山の会への過去の参加者には、環境庁や農林省に進んでおられる方が沢山いらっしゃいます。今回浅野さんにご無理をお願いして、小さい時の自然とふれあう学びの大切さについてお話をいただくことにいたしました。多くの保護者とお子さんがご参加いただき学びあいたいと思います。

第27回自然と環境講演会

子どもは自然の中で育つ

小学3年生時代からやましろ里山の会の昆虫観察会に参加

講師 京都大学准教授 浅野聡史

中部住民センター セセラギ大ホール 駐車場 200台あり
子ども昆虫博士 二人の発表

子育て中の←

お父さんお母さんご参加ください

3月1日(土)13:00~16:30

参加費無料 京都府交響プロジェクト交付金事業
参加申し込み fddb257yahoo.co.jp 氏名 住所 年齢 電話を記載
参加申し込み受付開始 2025年1月15日~定員なり次第お断り 250人

プログラム

- 13:00 開会挨拶
- 13:10 中学生活動発表 吉村 開 中乗陸斗
- 13:40 浅野氏講演
- 15:00 質疑応答
- 15:40 里山の会活動紹介
- 16:00 参加者全員で会場かたづけ
- 16:10 参加者全員で集合写真
- 16:15 解散

主催 NPO やましろ里山の会 事務所京田辺市田辺深田 15 0774-64-4183
後援 京都府 山城教育局 京田辺市 京田辺教育委員会 いきもの多様性センター
京田辺市内小学校保護者会 シュタイナー学校 (後援申請中)